

長く短い毛が密生。長節は座節の半分の長さ。腕節は長節とほぼ同長、前節は腕節の1.2倍の長さがあり、いずれも内側に毛が密生する。

陰茎(図2M)は対をなし長く、各々の長さは幅の25倍に達する。

第2腹肢(図2N)内肢の交尾針は長く、折曲り先端は針状であり、長さは幅ほぼ70倍。第5腹肢(図20)の内肢は肥厚する、外肢は内肢より若干長く、3群の疣状突起を有する。

引用文献

Kussakin, O.G. 1976. Marine and brackish Isopoda of cold and temperate waters of

the Northern Hemisphere I. Suborder Flabellifera. Akade 1-170(露語).

Nunomura, N. & Nishimura, S. 1976. Marine Isopoda from the rocky shore of Osaka Bay, middle Japan (2). Bull. Osaka Mus. Nat. Hist., 30:19-26.

Shen, C. J., 1929 Description of a new isopod *Dynoides dentisinus* from the coast of North China. Bulletin of the Fan Memorial Institute of Biology, Peiping 1:65-75.

布村 昇. 1995. 等脚目. in 西村三郎編, 原色検索日本海岸動物図鑑(II). pp. 205-223. 保育社, 大阪.

ヤリボヘラムシ

布村 昇

富山市科学博物館 〒939-8084富山県富山市西中野町1-8-31

One page of note on Anatomy-3 *Symmius caudata* Richardson

Noboru Nunomura

Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama-shi, Toyama 939-8084, Japan

Symmius caudata was reported at first from Osazaki, Suruga Bay (Richardson), But no adequate figures of appendages have been sketched.

Therefore, I redescribed *Symmius caudata* on a female specimens caught from Sagami Bay.

筆者は等脚目甲殻類の分類を手がけてきたが、この類は多くの種からなり、個体数も多く、生態的に重要でありながら知見も少なく、付属肢の形態もあまり広く知られていないのが多い現状である。そこで富山市科学博物館など手元にある標本を解剖し、その形態を記載しておくことにした。

今回は *Symmius caudatus* は Richardson により 1904 に駿河湾大瀬崎の 60-70 尋の深さから知られている。その後各地で調査されているが付属肢の形態などが詳しく記載されたことが無かったので相模湾産の雌標本の付属肢をスケッチした。

ヤリボヘラムシ

Symmius caudata Richardson, 1904

体(図A)は幅の3.0倍。体色は鈍い黄色。目は小さく、約15個眼からなる。胸部は概して紡錘形で第3胸節が最も巾が広い。第5-7節は巾が狭い。腹尾節は1-2節が分離し、腹尾節は全長の約45%を占める。後端は長く突き出す。

第1触角(図B)4節からなり、第2節は第1節より明らかに長い。第3柄節は第2柄節よりやや長い。鞭節は1節で、末端に4本の剛毛と途中に2群の剛毛を持つ。第2触角(図C)は第3胸節まで届き、5柄節3鞭節からなる。額葉は五角形。頭盾は短い。右大顎(図D)の門歯状突起は3歯、可動葉片は2歯からなり、さらに10-11本の剛毛の歯と臼歯状

突起は4本の剛毛を持つ。左大顎(図E)の門歯状突起は4歯、可動葉片は3歯を持ち、10-11本の剛毛の歯と臼歯状突起は5本の剛毛を持つ。

第1小顎(図F)の底節内葉は2本の羽状剛毛をもち、基節内葉は10本の単純な歯からなる。第2小顎(図G)の底節内葉は6本、基節内葉両枝はそれぞれ2本と3本の剛毛を持つ。顎脚(図H)の基節内葉は比較的細く8-9本の羽状剛毛を先端にもつ。顎脚鬚は4節からなり第1-2節はほとんど正方形。第3節は最長で20本の剛毛を周辺にもち11本の剛毛を外縁に持つ。最終節は半円形で26本以上の剛毛を周縁に持つ。副枝は狭く皮針形である。

第1胸肢(図I)は後続の胸肢より太いが短い。底節は長方形で長さは幅の2.9倍であり内縁に16剛毛を持ち、外縁の基部側半分には5-6剛毛があり、外縁末端側半ばに短い剛毛がある。座節は底節の0.4倍の長さであり、内縁に6-7本の剛毛、外縁には1本の長い剛毛と多くの短い剛毛が末端にある。長節は長方形で、内縁には8-10本の剛毛がある。腕節は短く10-12本の剛毛を内縁にもつ。前節は長方形で20本以上の剛毛を内縁にもつ。指節も前節程度の長さを持つ。

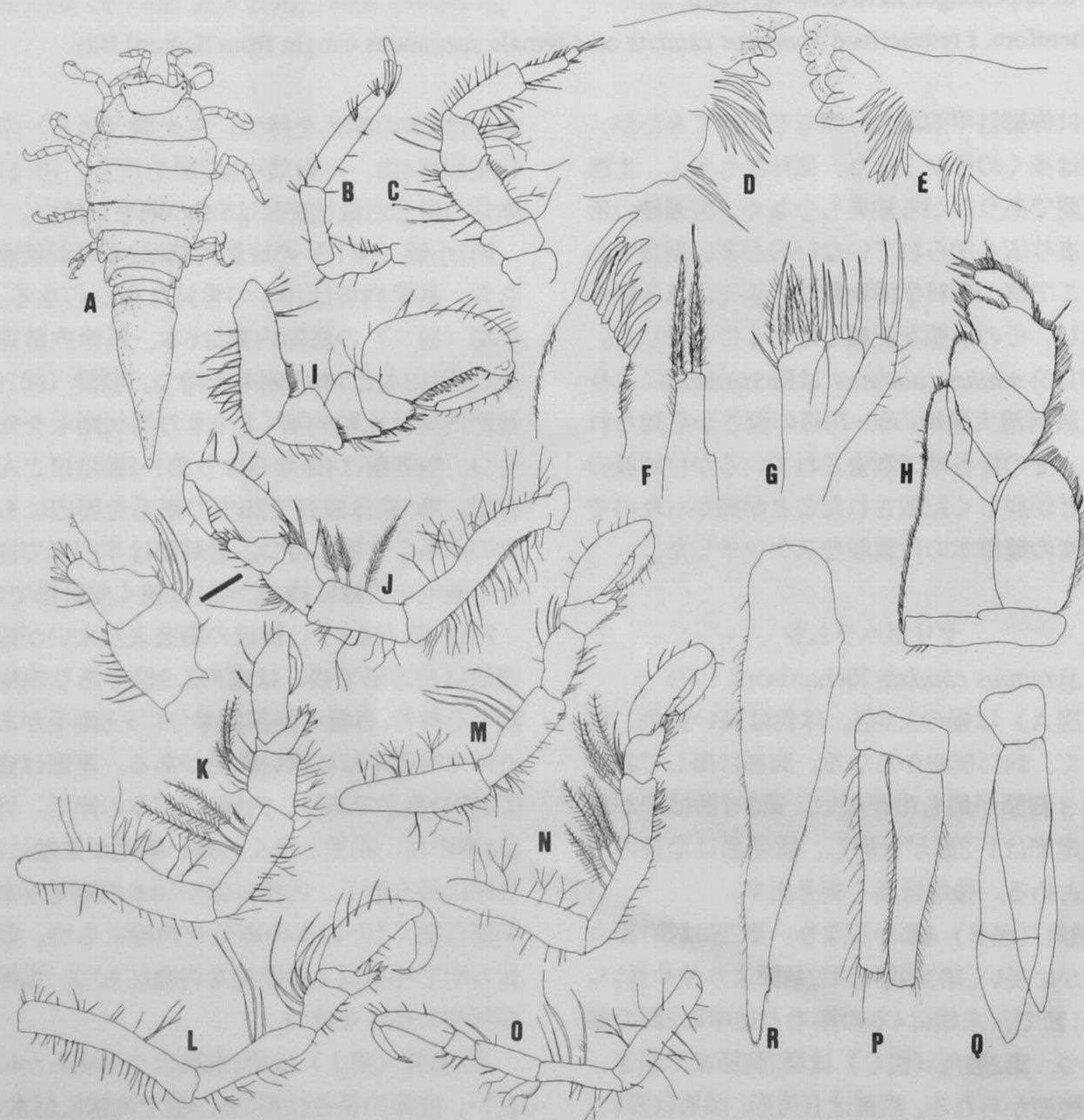
第2胸肢(図J)は第1胸肢よりも明らかに細く長い。底節の長さは幅の5.3倍で内縁に何本かの2又または3又したものを含め、約20本の長い剛毛をもち、外縁に2又または3又のものを含め17-18

本の剛毛を持つ。座節は底節，2又のものを含め10剛毛を内縁にもち、3本の長い羽状の剛毛を外縁にもつ。長節は長方形で座節の0.6倍の長さで内縁12本の剛毛を持つ。腕節は三角形で9-10本の剛毛を内縁に持つ。前節は長方形で第1胸肢の前節より幅が狭く、外縁に6本の剛毛を持つ。

第3胸肢(図K)の基節の長さは幅の4.7倍で内縁に13本の剛毛、外縁に2又または3又のものを含め、10-11本の剛毛をもつ。座節は基節の0.55倍の長さで外縁に2又または3又のもふくめ、14-15本の剛毛、外縁に3-4本の長い剛毛を持つ。長節は座節の0.55倍で内縁に2又または3又のものをふ

くめ、9-10本の剛毛を持ち、3本の長い剛毛および2-3剛毛を外縁にもつ。腕節は三角形。前節は座節とほぼ同長。指節は前節の長さは半分程度である。

第4胸肢(図L)の基節の長さは幅の6倍で内縁に17-18本の剛毛と12-13本の剛毛(2又のもの一本を含む)を外縁にもつ。座節は基節の0.6倍長さで、内縁に2又のものや多数に分岐したものを含め6-7本の剛毛をもち、3本の長い羽状の剛毛を外縁上にもつ。長節は座節の0.35倍で5-6本の剛毛を内縁にもち、6本の長い剛毛を外縁にもつ。腕節は三角形で内縁末端に4本の太い剛毛を持つ。



A背面図 B第1触角 C第2触角 D右大顎 E左大顎 F第1小顎 G第2触角 H顎脚
I-O胸脚 P Q R尾肢

前節はやや太めで、長さは長節の2.4倍。指節は前節の半分の長さである。

第5胸肢(図M)の基節の長さは幅の3.5倍、両縁に10-11本の剛毛があるが、多岐しているものもある。座節は基節の0.7倍の長さで、内縁に剛毛と15-17剛毛、外縁に4本の長い剛毛を持つ。長節は座節の2/3の長さで、内縁に10本の剛毛をもち、外縁に5本の剛毛をもつ。腕節は三角形で4本の太い剛毛を末端付近に持つ。前節は座節より少し長く、その長さは幅の2.7倍で7-8本の剛毛を外縁に持つ。

第6胸肢(図N)は第5胸肢に比べ幾分短い。基節4.9倍の長さは幅の7-8本の剛毛をもち、いくつかは2又のものである。また4-5本の長い羽状剛毛を外縁に持つ。座節は底説の0.6倍の長さで7-8本の剛毛を内縁に持ち、4本の長い剛毛を外縁に持つ。長節は座節の0.8倍の長さで4本の剛毛を内縁にもつが、幾つかは2又している。また2-3本の剛毛を外縁にもつ。腕節は長方形で、長節の0.45倍の長さがあり、3本の剛毛を内縁に持つ。前節はやや長めである。

第7胸肢(図O)は第6節より、明らかに短小で長さは80%程度。基節は長方形で、長さは幅の5.5倍、内縁に8本の剛毛をもち外縁に2又または3又のものを含め、8-9本の剛毛をもつ。座節は基節の0.8倍の長さで9-10本の剛毛を内縁にもち、4本の長い剛毛を外縁に持つ。長節は座節の半分の長さで、多くの剛毛を内縁にもち、6本の剛毛を外縁に持つ。腕節は長節の0.8倍の長さで10-12剛毛

を内縁にもち、2本の太い剛毛を内側の箸の角にもつ。前節は長節の2倍の長さである。

腹肢1(図P)の原節は長方形。内肢・外肢とも長方形。腹肢4(図Q)の原底節はほぼ正方形。内肢・外肢とも長楕円形だが、外肢がやや長い。

尾肢(図R)は長く先端に向かって細くなるが、先端はやや丸みを帯びる。

引用文献

- 布村 昇. 1995. 等脚目. in 西村三郎編, 原色検索日本海岸動物図鑑(II). pp. 205-223. 保育社, 大阪.
- Numomura, N. 1984. Two new idoteid Isopoda from Otsuchi Bay, northern Japan. Bull. Toyama Sci. Mus., 6:57-64.
- Numomura, N. 2008. Marine Isopod Crustaceans collected from Shijiki Bay, western Japan (1) Valvifera, Sphaeromatidea, Limnoiidea and Oniscidea. Bull. Toyama Sci. Mus., 31:31-43.
- Richardson, H. 1904. Contribution to the Natural History of the Isopod. Proc. U. S. Nat. Mus., 27:1-89.
- 椎野季雄. 1965. 等脚目. in 岡田 要・内田清之助・内田 亨監修, 新日本動物図鑑(中). pp. 539-555, No. 714-769. 北隆館, 東京.
- Shimomura, 2008. A new species of *Symmius* Richardson (Crustacea: Isopoda: Chaetiliidae) from Japan. Zootaxa. 1719:61-68.